

江島 豊

EJIMA, Yutaka



ご専門：麻酔科学，手術医学
読者へ：災害医療は多職種チームワーク。まずは，自施設の災害対策状況を確認しよう。不明なときは，貴施設の災害対策委員やDMAT 隊員がきっと知っている。ご質問は気軽に私までメールまたは学会会場で。

高橋良光

TAKAHASHI, Yoshimitsu



ご専門：血液浄化療法，人工呼吸療法
読者へ：専門分野は血液浄化療法で，バスキュラーアクセスの研究をしております。日本で起こる自然災害，実は海外の協力者により何度も助けられています。国際緊急援助隊の1人として，今後起こるであろう災害時に少しでもお役に立ちたいと考えています。

高橋直紀

TAKAHASHI, Naoki



ご専門：血液浄化（急性期・慢性期）
読者へ：今回は大規模停電により透析センター稼働不能に陥った際の経験を中心に執筆させていただきました。停電というものが，電気だけではなくさまざまなことに影響を及ぼすのだと，身をもって知りました。自然災害が多い昨今，この経験が少しでも皆様の参考になれば幸いです。

千葉二三夫

CHIBA, Fumio



ご専門：体外循環，補助循環，急性血液浄化
読者へ：異常気象が当たり前となりつつある日本列島で，災害は必ず起こるものと考え，今回得られた貴重な体験が，少しでも皆様のお役に立ててもらえれば幸いです。これからの備えに向けて情報を共有し，災害時の医療体制を高めていきましょう。

近藤隆司

KONDOU, Takashi



ご専門：血液浄化領域 人工呼吸器領域
読者へ：西日本豪雨災害後の水不足への対応を執筆させていただきました。豪雨からの断水は予想がつかない災害で，当初はどうしていいかわかりませんでした。災害時は，臨床工学技士としてはもちろん，人として，全力で行動するべきであると考えています。

山家敏彦

YAMAKA, Toshihiko



ご専門：血液浄化装置学，医療安全，災害医療
読者へ：近年，地震のみならず集中豪雨，台風などによるライフラインの途絶が社会問題となっています。臨床工学技士は，特別な修練を要する業務が多く，これまで以上に横の関係を広げた互助が求められています。災害に負けない透析医療をJHAT とともに目指しましょう。

森上辰哉

MORIGAMI, Tatsuya

ご専門：透析器性能評価、
on-line HDF、災害対策

読者へ：自然災害は常に記録更新を狙っています。よって、それらに対応するためには、常に進化した対策を講じていく必要があります。地球環境の変化を敏感に受け止め、柔軟な対策を講じていくことが、被害を軽減するために重要です。



島田俊樹

SHIMADA, Toshiki

ご専門：手術室、集中治療室

読者へ：私は危機管理学部を卒

業し、防災や緊急時対応について取り組んで参りました。この先災害が起こらないことは残念ながらありません。災害対策は全国の意見を結集して向上させ、日本全体で取り組むべきだと思います。今回の拙著が、1つの参考になれば幸いです。



岡田直人

OKADA, Naohito

ご専門：情報管理、災害時情報ネットワーク

読者へ：昨今、地震による災害に加え、大雨や台風など気象に関する災害が増えており、被災した施設、被災しなかった施設に関する状況の情報報告・収集するツールを紹介したい。



鈴村明文

SUZUMURA, Akifumi

ご専門：病院建築設備の設計・
監理

読者へ：災害時に医療機能のどの部分をどのように生かすのかを検討する際は、医療従事者だけでなく、設備設計者・医療機器メーカーと一緒に考える必要があります。そして検討した対策を、災害時を想定して訓練する必要があります。

五嶋淳夫

GOTO, Atsuo

読者へ：私は現在、協会で総務部
会リーダーとして災害対策などを検

討、推進している。ところで、不意に緊急対応を迫られたとき大きな力となるのは、日ごろから目的を意識しその遂行に信念を持つことだと思う。もちろん、協会の場合は「医療を支える～すべては患者さんのために～」ですが、皆さんのところはでしょうか。



川合満男

KAWAI, Mitsuo

ご専門：建築設備の設計・監理、電気設備設計

読者へ：「電気」はあって当たり前の存在になってきています。しかし、近年の傾向では、一度災害が発生すると経験したことのない被害が発生しています。BCPの一環として日ごろから少しでも停電への意識をもっていただき、議論や訓練などに活用いただければ幸いです。

岡田 正

OKADA, Tadashi

ご専門：医療ガス配管設備、手術室設備の設計・開発

読者へ：免許更新時に「かもしれない運転」という言葉を聞いた。たとえば、車の陰から子供が飛び出してくるかもしれない。常にそう心掛けるということで、災害に対しても、設備などの備えに加えて心の備えを万全にし、「想定外だった」という言葉を言わないようにしたい。

筒井慶枝

TSUTSUI, Yoshie

ご専門：医用無停電電源装置
(UPS)、営業・販売

読者へ：医用の規格(UL 60601-1)を取得したUPSを営業・販売してから約8年になります。性能がますます高度化するME機器に対して、医用UPSの必要性を強く感じており、臨床工学技士の方々にご認識いただけるよう、日々、研鑽に励んでおります。

